

# 2024年度 第1四半期決算

2024年8月6日

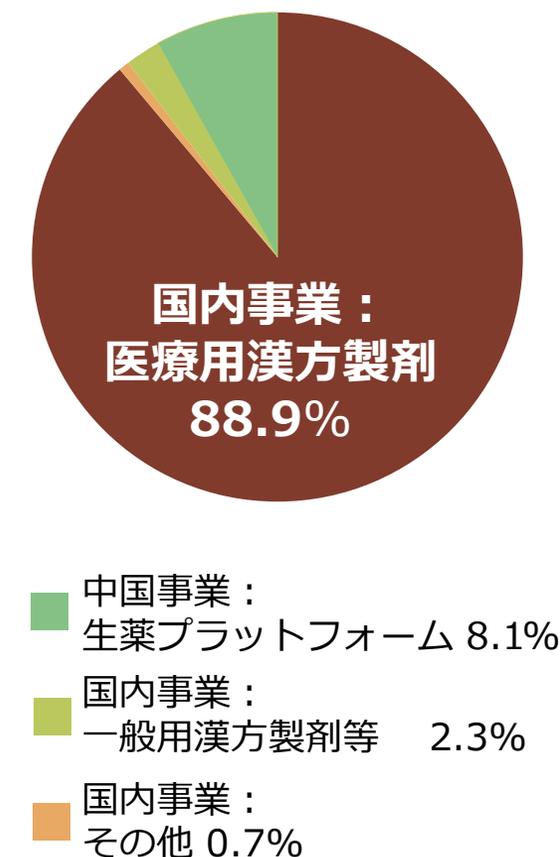
取締役CFO

半田 宗樹

# 2024年度 第1四半期 決算概況

【百万円】	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比		2024年度 上期計画	進捗率 (対上期計画)
			金額	増減率		
<b>売上高</b>	<b>37,036</b>	<b>43,690</b>	<b>+6,654</b>	<b>+18.0%</b>	<b>89,700</b>	<b>48.7%</b>
国内事業	32,988	40,134	+7,145	+21.7%	79,600	50.4%
中国事業	4,047	3,556	△491	△12.1%	10,100	35.2%
<b>営業利益</b>	<b>4,684</b>	<b>10,575</b>	<b>+5,890</b>	<b>+125.7%</b>	<b>19,300</b>	<b>54.8%</b>
国内事業	4,684	10,713	+6,028	+128.7%	19,500	54.9%
中国事業	0	△138	△138	-	△200	-
<b>経常利益</b>	<b>5,989</b>	<b>14,118</b>	<b>+8,128</b>	<b>+135.7%</b>	<b>19,300</b>	<b>73.2%</b>
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	<b>4,332</b>	<b>11,180</b>	<b>+6,847</b>	<b>+158.1%</b>	<b>14,200</b>	<b>78.7%</b>
PL換算レート※ (円/元)	19.36	20.63	+1.27	-	-	-

売上高構成比率



※期中平均レートであり、原料生薬の輸入レートとは異なります

## ・増収増益の決算

<b>売上高</b>	<b>43,690</b>	<b>百万円</b>	前年同期比	<b>+18.0%</b>	進捗率 (対上期計画)	<b>48.7%</b>
------------	---------------	------------	-------	---------------	----------------	--------------

- 国内事業 医療用漢方製剤（129処方） : 38,820百万円 前年同期比 21.9%伸長
- 一般用漢方製剤等 : 985百万円 前年同期比 17.8%伸長
- 中国事業 原料生薬、飲片、「薬食同源」製品等 : 3,556百万円 前年同期比 12.1%減少

<b>営業利益</b>	<b>10,575</b>	<b>百万円</b>	前年同期比	<b>+125.7%</b>	進捗率 (対上期計画)	<b>54.8%</b>
-------------	---------------	------------	-------	----------------	----------------	--------------

<b>営業利益率</b>	<b>24.2</b>	<b>%</b>	前年同期比	<b>+11.6pt</b>
--------------	-------------	----------	-------	----------------

- 原価率 : 47.7% 前年同期比 △7.2pt : 生薬調達コスト上昇、円安の影響等を薬価改定で吸収
- 販管費率 : 28.1% 前年同期比 △4.3pt : 主に売上高の増加の影響

<b>経常利益</b>	<b>14,118</b>	<b>百万円</b>	前年同期比	<b>+135.7%</b>	進捗率 (対上期計画)	<b>73.2%</b>
-------------	---------------	------------	-------	----------------	----------------	--------------

- 海外子会社への貸付金等に係る為替差益 : 3,228百万円 前年同期比 +2,299百万円 ※為替差益は計画では未計上

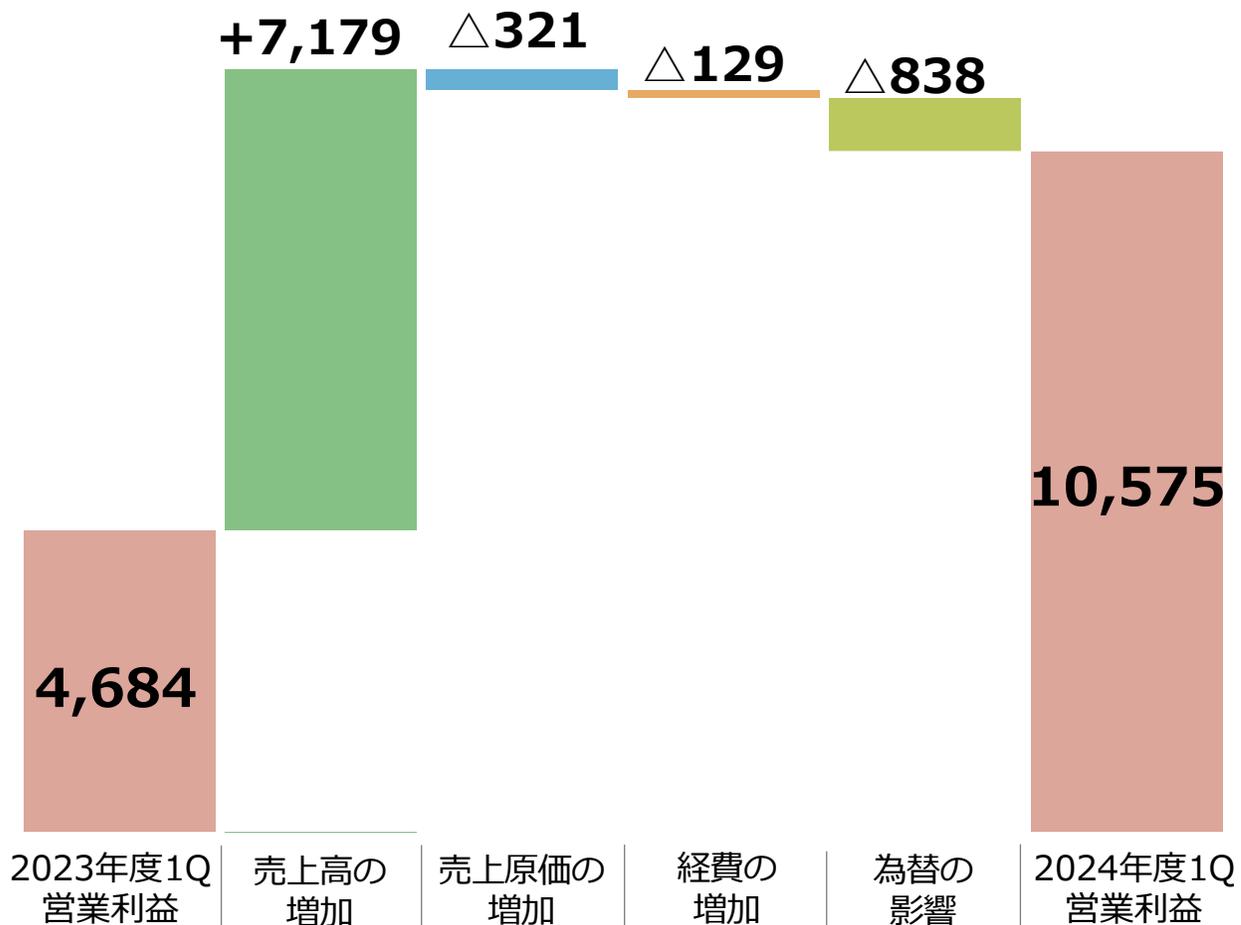
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	<b>11,180</b>	<b>百万円</b>	前年同期比	<b>+158.1%</b>	進捗率 (対上期計画)	<b>78.7%</b>
-----------------------------	---------------	------------	-------	----------------	----------------	--------------

- 政策保有株式売却益 : 1,729百万円 前年同期比 +1,729百万円

# 営業利益の増減要因（前年同期比）

(百万円)

(百万円)



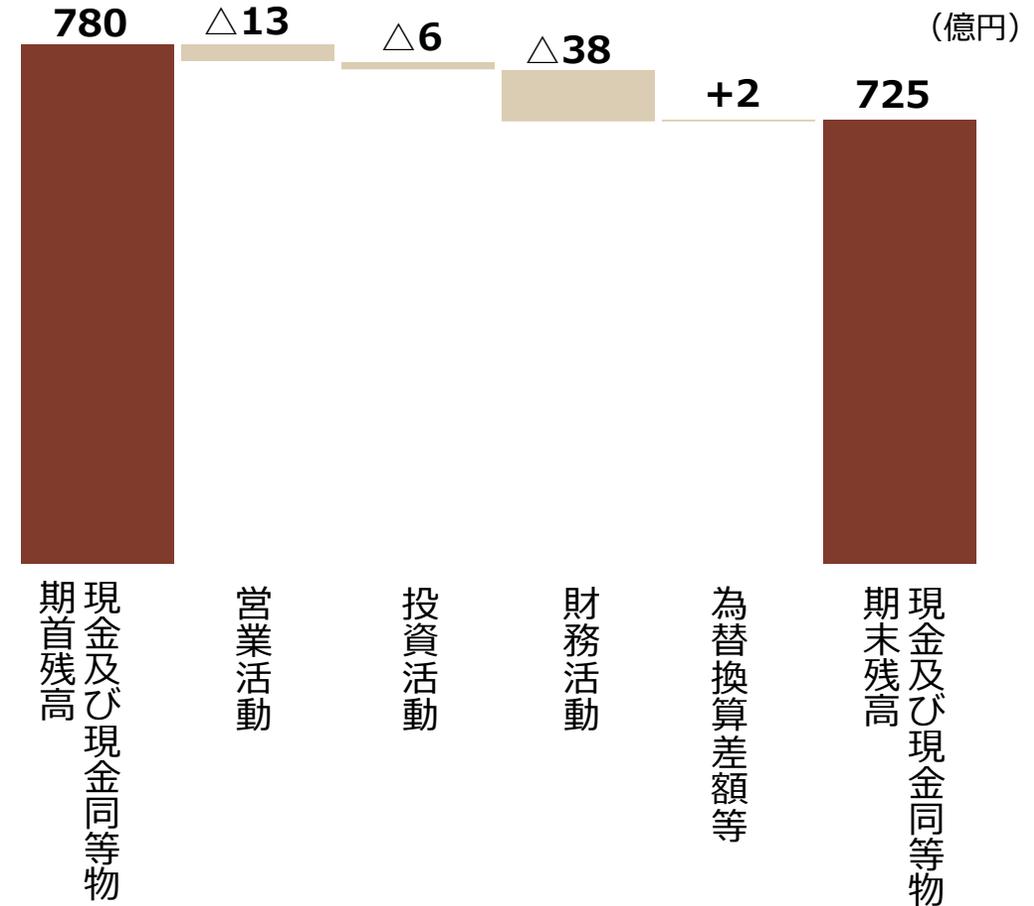
<b>売上高の増加 +7,179百万円</b>	
国内事業（薬価改定、販売数量、販売構成）	+7,285
中国事業	△106
<b>売上原価の増加 △321百万円</b>	
国内事業：生薬調達コスト	△321
国内事業：原資材費	△166
国内事業：加工費等（うち前年の天津工場初期稼働影響+278）	+142
中国事業：売上高構成比率の減少	+24
<b>経費の増加 △129百万円</b>	
減価償却費	△125
研究開発費	△42
販売促進費	60
給与諸手当	96
その他	△118
<b>為替（円安）の影響 △838百万円</b>	

# 財政状態およびキャッシュ・フロー

(百万円)

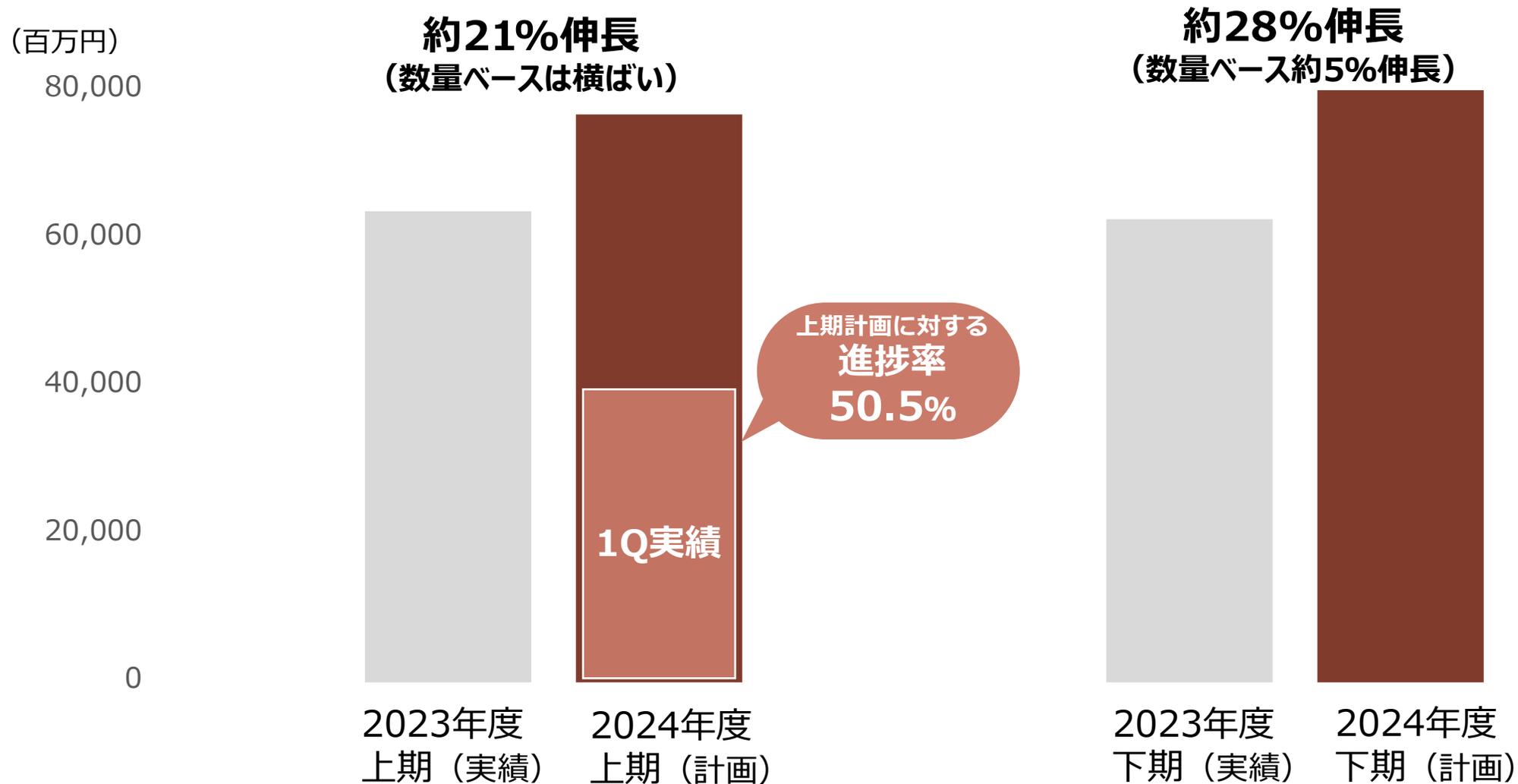
	2023年度 (2024.3)	2024年度 1Q	増減額
<b>資産合計</b>	<b>428,254</b>	<b>445,163</b>	<b>16,909</b>
流動資産	281,292	297,395	16,102
固定資産	146,961	147,768	807
<b>負債合計</b>	<b>132,889</b>	<b>137,611</b>	<b>4,721</b>
流動負債	68,557	73,718	5,161
固定負債	64,332	63,892	△439
<b>純資産合計</b>	<b>295,364</b>	<b>307,552</b>	<b>12,188</b>
自己資本比率	63.2%	63.3%	+0.1pt

	2023年度 (2024.3)	2024年度 1Q	増減額	内、為替
<b>棚卸資産計</b>	<b>117,617</b>	<b>126,911</b>	<b>9,294</b>	3,252
商品及び製品	12,139	13,522	1,383	167
仕掛品	18,309	19,944	1,634	152
原材料及び貯蔵品	87,168	93,444	6,275	2,932



# 国内事業：医療用漢方製剤（129処方）売上高

- 生産能力の増強により、下期の売上高は前年同期比で約28%伸長の計画
- 1Qの売上高は上期計画に対して順調に進捗

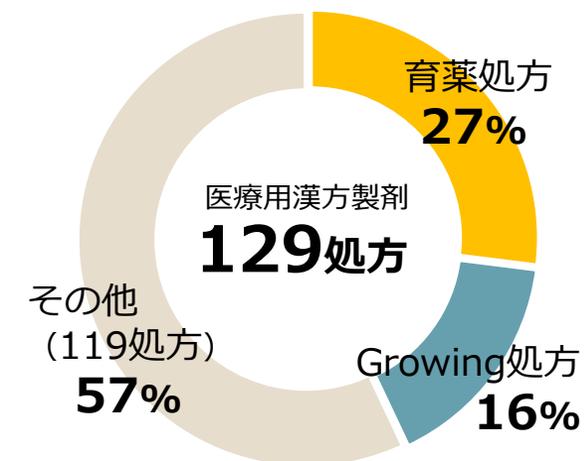


# 国内事業：育薬処方・Growing処方 売上高

(百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2023年度1Q	2024年度1Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯 ※	2,515	3,877	+1,362	+54.2%
	2	54 抑肝散 ※	1,940	3,040	+1,100	+56.7%
	5	43 六君子湯	1,861	1,757	△104	△5.6%
	7	107 牛車腎気丸 ※	995	1,467	+472	+47.5%
	25	14 半夏瀉心湯	370	358	△12	△3.3%
育薬処方合計			7,683	10,502	+2,819	+36.7%
Growing 処方	3	17 五苓散	1,801	2,090	+288	+16.0%
	4	41 補中益気湯	1,931	1,800	△131	△6.8%
	9	24 加味逍遙散	1,305	1,199	△105	△8.1%
	19	137 加味帰脾湯	590	539	△51	△8.7%
	20	108 人參養栄湯	561	527	△33	△6.0%
Growing処方合計			6,191	6,157	△33	△0.5%
育薬・Growing処方以外の119処方合計 ※			17,964	22,161	+4,197	+23.4%
医療用漢方製剤129処方合計			31,838	38,820	+6,982	+21.9%

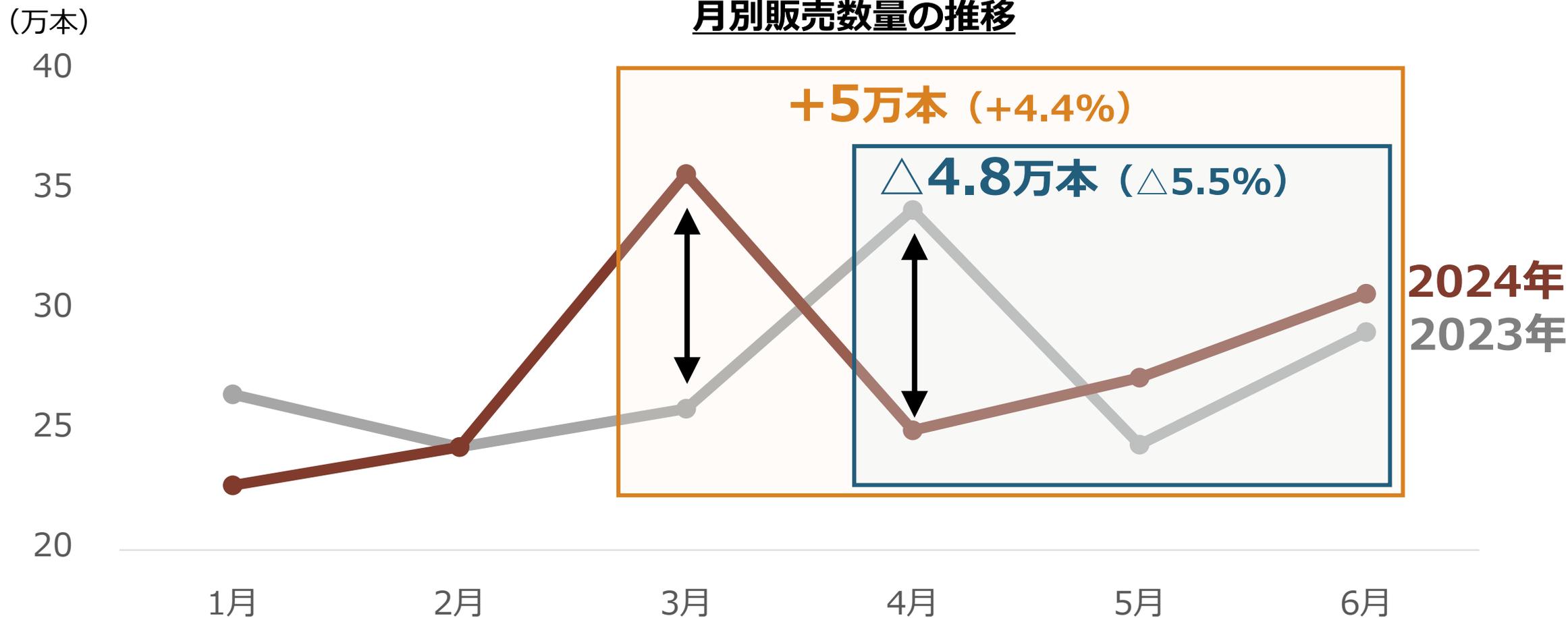
## 売上高構成比率



※不採算品再算定の適用を受けた処方  
66品目（育薬3処方+その他63処方、  
改定率：+36.2%～+50.7%）

- 3月は下記6処方において対前年比販売数量が約35%増

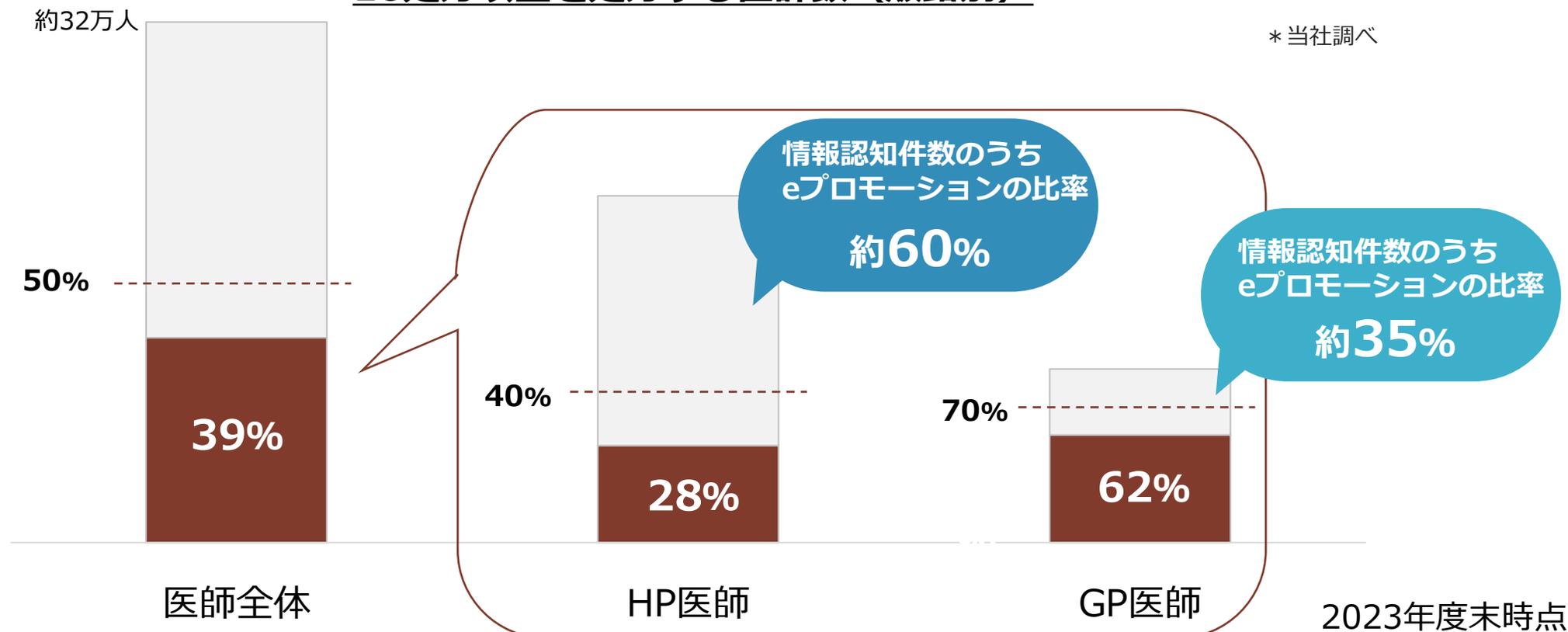
6処方（六君子湯、半夏瀉心湯、補中益気湯、加味逍遙散、人參養栄湯、加味帰脾湯）の  
月別販売数量の推移



※1本は標準包装1箱（1箱は9週間分入）

- 10処方以上を処方する医師の割合50%以上の実現に向けては、HP（病院）が課題
- HPにおける情報認知件数の割合は、e-プロモーションが約6割と高く、さらに注力することで10処方以上を処方する医師の増加を目指す

## 10処方以上を処方する医師数（販路別）



- HP医師向けの大規模なWeb講演会を企画し、延べ3万人を超える医師が参加予定
- Web講演会によるディテールインパクトは、前年同期比で約2倍に増加



## Kampo Online Seminar (4回シリーズ) 病院勤務医のための漢方ショートレクチャー

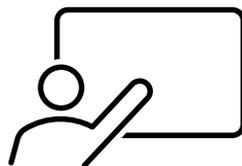
<テーマ>

- 第1回 漢方が適する諸症状 (不眠、不安)
- 第2回 高齢者の諸症状 (フレイル・サルコペニア、こむら返り)
- 第3回 消化器症状 (上腹部愁訴、腹痛、便秘)
- 第4回 病院勤務医のための漢方薬使い分け (まとめ)

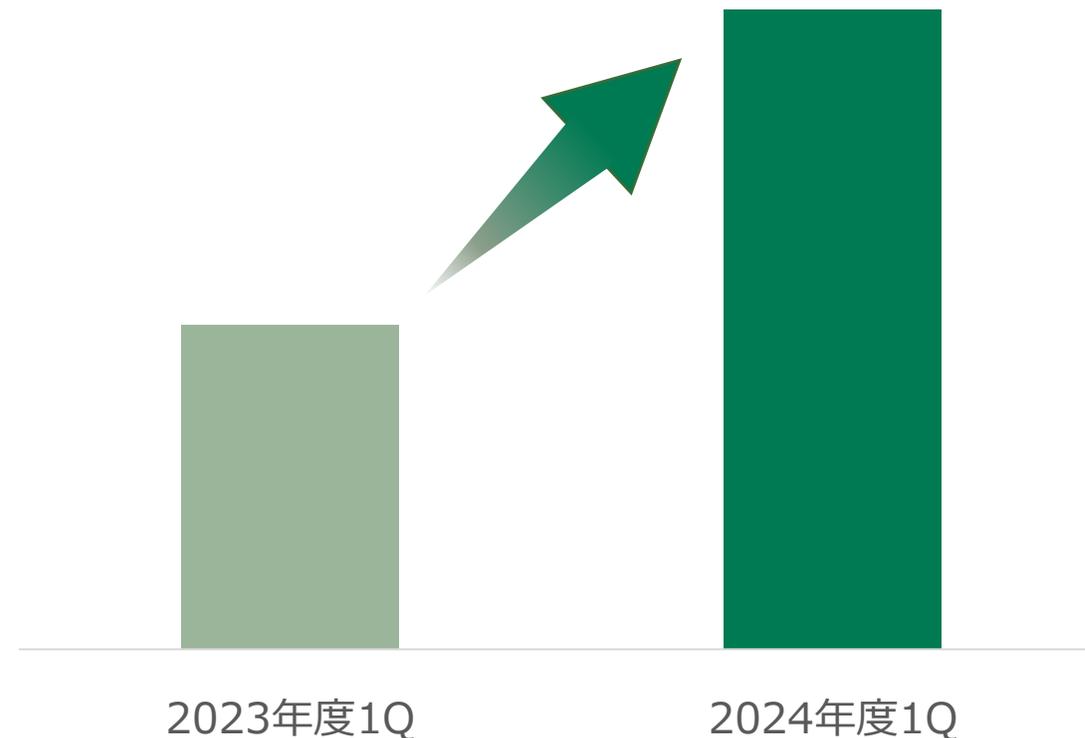
<講師陣>

東海大学医学部専門診療学系 漢方医学

漢方指導医 (野上先生、中田先生、新井先生)



## Web講演会 ディテールインパクト



出所：インテージヘルスケア調査「Impact Track」

- メールマーケティングの仕組みの「量・質の充実」により、医師一人ひとりにあった情報を提供
- 自社メディカルサイトのPV数は20%増加

## 医師一人ひとりにあった情報提供へ

サイト閲覧状況、診療科、領域、処方状況などから、潜在的なニーズを引き出し、関連するコンテンツを提供



自社メディカルサイトのPV数



- ・ 生産能力の増強により限定出荷の解除を進め、限定出荷品目は1処方（麦門冬湯）まで減少
- ・ 上海工場リニューアル完了後に麦門冬湯の生産量は大きく増加

## 天津工場の新設



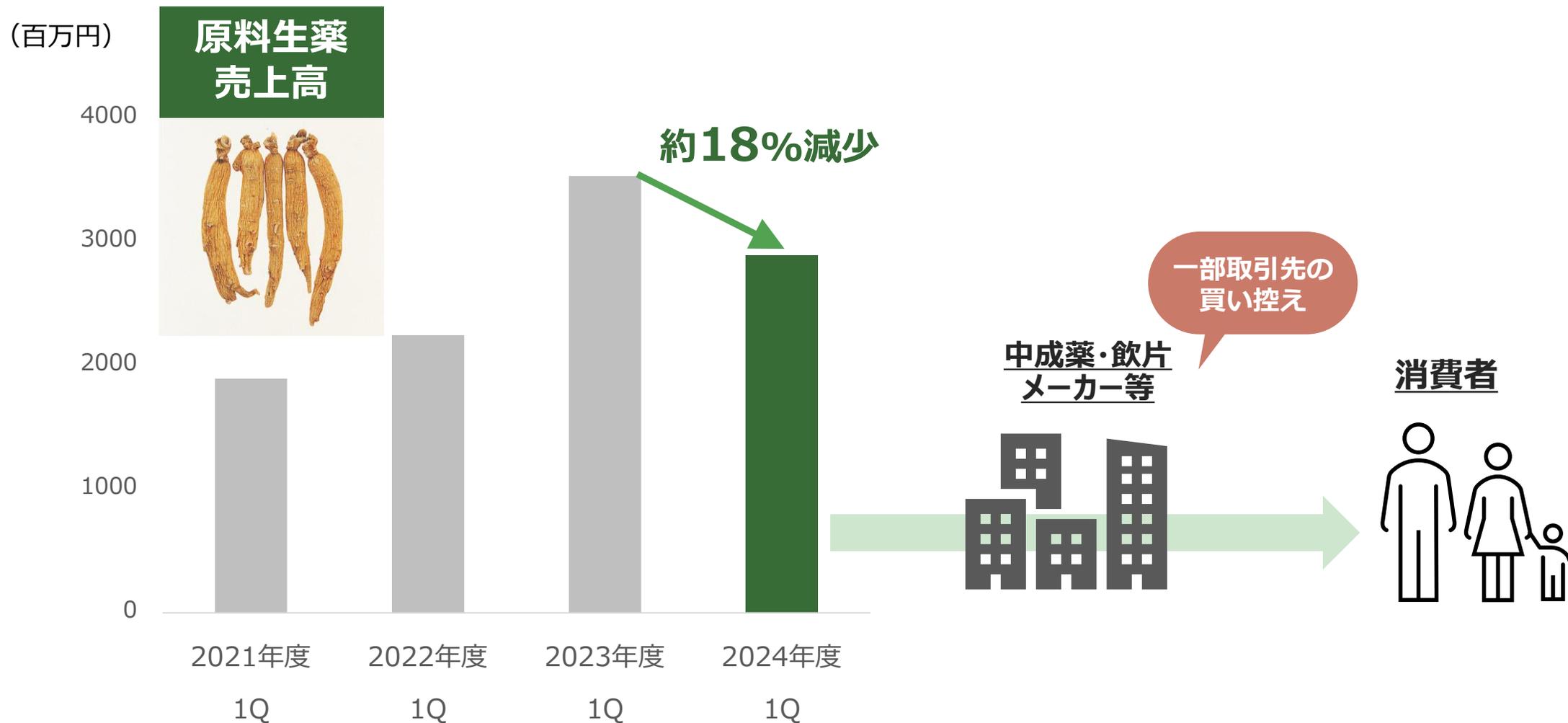
- ・ 予定していた全ての品目について、製造承認の取得完了
- ・ 1期製造ラインは2Qからフル稼働へ

## 上海工場のリニューアル

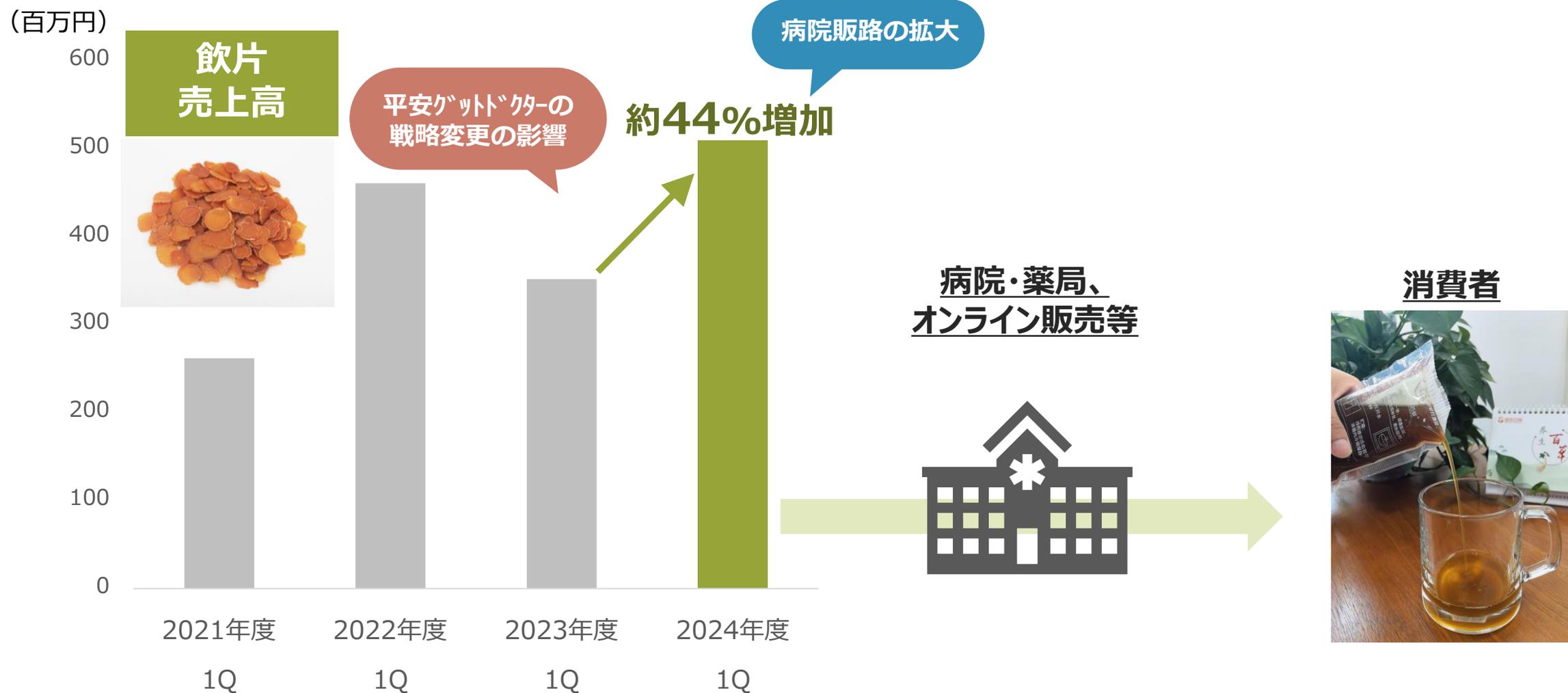


- ・ 稼働から20年以上経過した製造ラインのリニューアル工事を実施中
- ・ 工期の短縮により8月末に工事が完了、稼働再開予定

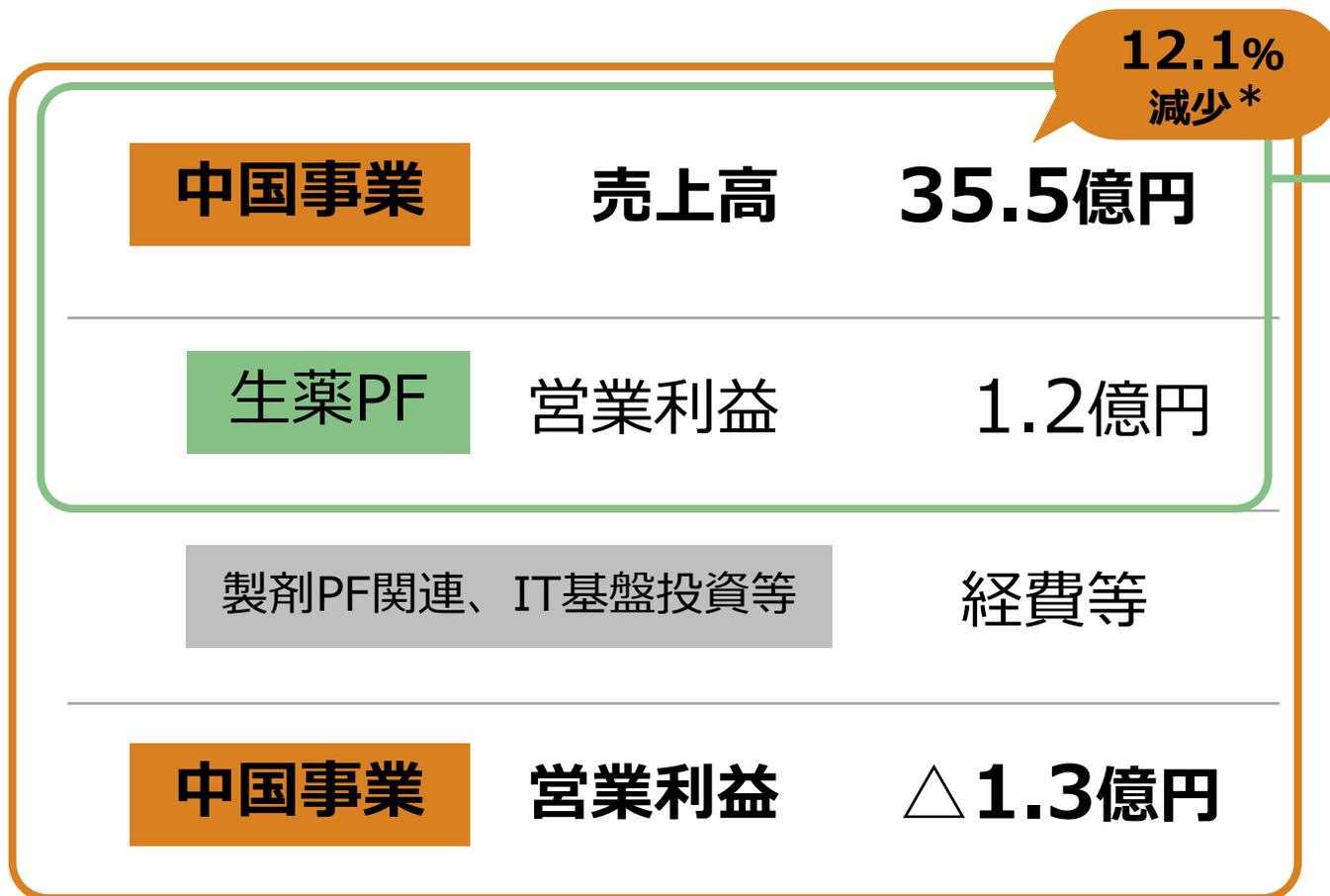
- 生薬価格の上昇が落ちつく見通しもあり、一部取引先による買い控えが発生
- 販売品目数の拡大により、売上高の拡大を目指す



- ・ 飲片の販売は病院販路の拡大等により、再び成長軌道へ
- ・ 飲片付加価値サービス「一人一方」を拡大し、さらなる顧客の開拓を推進



- 生薬プラットフォームの営業利益率の向上による、中国事業営業利益の黒字化を目指す



### 生薬PFの製品

原料生薬	飲片	大健康製品
原料として、 中成薬メーカー へ販売	病院や薬局へ 医療用やOTC として販売	生薬を活用した 健康食品を 一般消費者に販売

\* 現地通貨ベース：17.5%減少

## コーポレート・コミュニケーション室

### I R 推進グループ

[investor\\_madoguchi@mail.tsumura.co.jp](mailto:investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp)

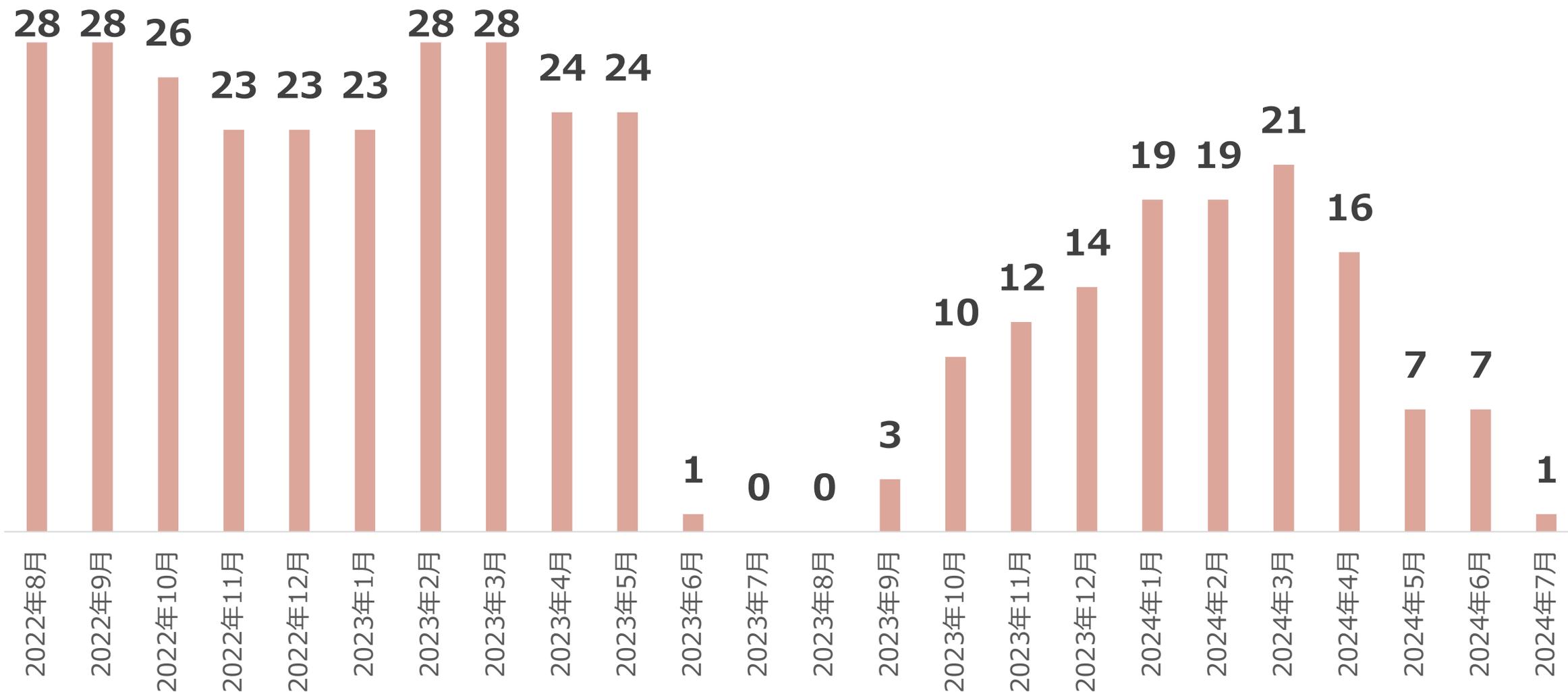
#### 見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。したがって、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制の変更や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少したりした場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。

# Appendix

# 国内事業：医療用漢方製剤（129処方）限定出荷品目数の推移

- 生産能力の増強により限定出荷の解除を進め、8月6日時点では1処方



- ・ 2023年度は工場の停止などの特殊要因により、Qごとに大きな変動が発生
- ・ 2024年度1Qは特殊要因の発生はなし

## 未実現利益の推移

